

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体		
北区区民活動支援コーナー等運営事業					北区役所		
事業目的		事業内容		活動指標	R04	R05	R06
幅広い分野の区民活動への支援、区民活動に関する情報収集や情報発信などを通じて、北区における区民活動を活性化させ、また、活動の場を提供することにより区民の生きがいに資することを目的とする。 また、北区在住・在学の中学・高校生等に対し学習の場を提供することにより、自主学習の推進を図ることを目的とする。		新金岡市民センターに区民活動支援コーナー・北区自習室を開設し、以下の事業を実施。 ・区民活動団体に関する情報の収集及び提供 ・区民活動に役立つ講座やイベントの実施 ・区民活動に関する相談及びマッチング ・区民活動団体への会議室等の貸出 ・パソコン・印刷機・紙折機・コピー機等の設置 ・自習室スペースの貸出		新規登録団体数・利用者人数	・区民活動支援コーナー新規登録団体：13団体 ・区民活動支援コーナー利用者数：13,474人 ・自習室利用者数：172人	・区民活動支援コーナー新規登録団体：11団体 ・区民活動支援コーナー利用者数：14,475人 ・自習室利用者数：727人	・区民活動支援コーナー新規登録団体：9団体 ・区民活動支援コーナー利用者数：15,541人 ・自習室利用者数：1,092人
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	当支援コーナーを活動場所とする区民活動団体同士の交流や同コーナーで実施するイベント等が新しい取組を生み出すきっかけとなっており、区民活動を支援し、活性化させる目的に合致した事業となっている。 また、自習室の開設も行い、こどもから大人までの自主的活動を支援しており妥当性がある。	○	当支援コーナーで実施している講座やイベントにおいて、区民主体で運営している団体と協働実施しているものがある。	○	当支援コーナーと同規模のものは他区になく、多数の区民及び活動団体の利用があり、区民活動を効果的に支援する場所になっている。	×	区民活動の相談機能については社会福祉協議会が、貸会議室機能については新金岡市民センターが同等機能を有しており、効率化を図るため事業の実施形態を見直す必要がある。
⑤自立発展性		総合評価					
△	当支援コーナーは、区内の様々な活動・資源・人材・情報等が、区民や活動団体の間で共有され「つながる」よう運営を行うことで、自主的な区民活動の更なる発展の可能性が高まるが、活動同士のマッチングや情報発信、会議室の貸出など公共性の観点から区役所が担う必要がある。	△	令和6年度の支援コーナー利用者は年間15,541人、自習室利用者は年間1,092人であった。 区民活動を支える拠点施設、区内在住・在学の中高生に向けた自習スペースを供する本事業は、多数の区民及び区民活動団体等に利用されていることから、区民ニーズに沿ったものであり、今後も継続すべきである。 ただし、運用方法については効率化を図る必要がある。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	区民活動に関する相談については社会福祉協議会が同等の機能を有しており、コスト削減の観点から、支援コーナーにおける相談機能を廃止する。 会議室等の貸出などその他の運営については、委託業務として実施せず、本市において実施する。						